

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェックを入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2025年度		2. 開講学期	前期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	教育学部		4. 授業形態／授業種 別	対面授業	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 絵画ⅡA				
	(英文名) PaintingⅡA				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) なし				
	(英文名) なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 古草敦史				
	(ローマ字) FURUKUSA Atsushi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部2年次生		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部2年次生	
16. 曜日・時限	金曜日・4時限		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	(1)デッサン, (2)色彩研究, (3)マチエール研究 (1)Drawing, (2)Color Study, (3)Matiere Study				
21. 授業概要	<p>学校現場で美術を教える際に必要となるデッサン、油彩画(場合によっては水性画材)の制作を行い、 デッサン、彩画の可能性を追求する。また、生涯活動における絵画表現の可能性を探求することとする。</p> <p>課題による構想画では、30号以上程度の制作を行う。学生それぞれがモチーフを探して画面を構成さ せるなかで、制作と並行して各自でさまざまな画家を調べ、それらの表現、技法を学ぶ。</p>				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	<p>自己の興味のあるところを見つけ、探し出したモチーフと古今の画家の作品研究によって充実した画面 構成を追求する。</p> <p>デッサン力(形、形態感、質感、空間感、構成力などの追求)の強化を図るとともに発展的な画材の用い 方を追求し、高度な絵画表現の技術の習得を目指す。</p>				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	<p>①油絵具、筆、ナイフ、溶き油を工夫して用いることができる。(DPの「知識・理解／広範な人文・社会・ 自然に関する知識」、「問題解決・課題探求能力／21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)</p>				<input type="checkbox"/>

	<p>②デッサン力の強化を図るとともに発展的な絵画表現を目指す姿勢をもつことができる。(DPの「知識・理解／広範な人文・社会・自然に関する知識」、「問題解決・課題探求能力／21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)</p> <p>③自身の作品について批判的に評価することができる。(DPの「問題解決・課題探求能力／21世紀社会の諸課題に対する探求能力」、「教職に対する使命感」に対応)</p>	
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回 ガイダンス</p> <p>第2回 構想エスキース①(エスキース制作・モチーフと構想の研究)</p> <p>第3回 構想エスキース②(エスキース制作・モチーフと構想の応用的な研究)</p> <p>第4回 構想エスキース③(エスキース制作・モチーフと構想の発展的な研究)</p> <p>第5回 構想エスキース④(エスキースについて受講生相互のディスカッション)</p> <p>第6回 油彩構想画①(下絵制作・デッサンの研究)</p> <p>第7回 油彩構想画②(下絵制作・デッサンの応用的な研究)</p> <p>第8回 油彩構想画③(本制作・色彩, マチエールの研究)</p> <p>第9回 油彩構想画④(本制作・色彩, マチエールの応用的な研究)</p> <p>第10回 油彩構想画⑤(本制作・色彩, マチエールの発展的な研究)</p> <p>第11回 油彩構想画⑥(本制作・総合的な要素の検討)</p> <p>第12回 油彩構想画⑦(本制作・総合的な要素の応用としての検討)</p> <p>第13回 油彩構想画⑧(本制作・総合的な要素の発展としての検討)</p> <p>第14回 油彩構想画⑨(本制作・総合的な要素の展開としての検討)</p> <p>第15回 油彩構想画⑩(講評会)</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>第2～15回 さまざまな絵画作品の鑑賞によって、画面構成の方法やものの見方、材料の用い方を研究する。</p> <p>日常から小さなスケッチブックと鉛筆等で風景等を描いたり、また、どのような材料でもよいから、らくがきのにも描く習慣をもつ。</p>	<input type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	<p>受講姿勢(50%)および制作作品(50%)により評価する。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	<p>再試験は行わない。</p>	<input type="checkbox"/>
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学6名・徳島大学2名・鳴門教育大学4名</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>基本的な画材は各自で用意が必要。授業時間外でも時間を作って積極的に制作を行う。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名	なし			<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	なし			<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名	なし			
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名	なし			
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	なし				<input type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要なし	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし		<input type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワー: 毎週火曜日12:00~13:30(2号館3階) または、電子メール(furukusa.atsushi@kagawa-u.ac.jp)			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	オフィスアワー: 特に設けない。電子メール(furukusa.atsushi@kagawa-u.ac.jp)で問い合わせること。			<input type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	furukusa.atsushi@kagawa-u.ac.jp			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	furukusa.atsushi@kagawa-u.ac.jp			<input type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験について	高等学校美術科、専門学校等に非常勤講師および特別講師として勤務。美術・芸術の授業を担当。高等学校等での実務経験をもとに絵画実技について指導を行う。				<input type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	非対応				<input type="checkbox"/>	
42. その他／備考	なし				<input type="checkbox"/>	

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2025年度		2. 開講学期	後期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	教育学部		4. 授業形態／授業種 別	対面授業	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 絵画ⅡB				
	(英文名) PaintingⅡB				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) なし				
	(英文名) なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 古草敦史				
	(ローマ字) FURUKUSA Atsushi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部2年次生		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部2年次生	
16. 曜日・時限	金曜日・4時限		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	(1)デッサン, (2)色彩研究, (3)マチエール研究 (1)Drawing, (2)Color Study, (3)Matiere Study				
21. 授業概要	各自テーマ課題では、50号の制作を行う。学生それぞれが課題を意識しながらモチーフを探して画面を構成させるなかで、制作と並行して各自がさまざまな画家たちの作品を調べ、それらの表現、技法を学び、将来学校での美術を教える際に必要となるデッサン、油彩画制作の実技力の向上を図る。また、生涯活動として各自の絵画表現の可能性を探求することとする。				☑
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	自己の内面を探る主観性とそれを支える客観性を大事にしながら、古今の画家の作品研究によって充実した画面構成を追求する。 ここにおいても、デッサン力(形、形態感、質感、空間感、構成力などの追求)の強化とともに発展的な画材の使い方を習得する。				☑
23. 授業の到達目標 ／学修課題	①油絵具、筆、ナイフ、溶き油を発展的に用いることができる。(DPの「知識・理解／広範な人文・社会・自然に関する知識」、「問題解決・課題探求能力／21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応) ②デッサン力、技術の修練は当然ながら、自己のテーマによって感性豊かな絵画表現を目指す姿勢を				☐

	<p>もつことができる。(DPの「知識・理解／広範な人文・社会・自然に関する知識」、「問題解決・課題探求能力／21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)</p> <p>③自身の作品について批判的に評価することができる。(DPの「問題解決・課題探求能力／21世紀社会の諸課題に対する探求能力」、「教職に対する使命感」に対応)</p>	
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回 ガイダンス</p> <p>第2回 構想エスキース①(エスキース制作・構図の研究)</p> <p>第3回 構想エスキース②(エスキース制作・構図の応用的な研究)</p> <p>第4回 構想エスキース③(エスキース制作・構図の発展的な研究)</p> <p>第5回 構想エスキース④(エスキースについて受講生相互のディスカッション)</p> <p>第6回 油彩構想画①(下絵制作・デッサンの研究)</p> <p>第7回 油彩構想画②(下絵制作・デッサンの応用的な研究)</p> <p>第8回 油彩構想画③(下絵制作・デッサンの発展的な研究)</p> <p>第9回 油彩構想画④(本制作・色彩, マチエールの研究)</p> <p>第10回 油彩構想画⑤(本制作・色彩, マチエールの応用的な研究)</p> <p>第11回 油彩構想画⑥(本制作・色彩, マチエールの発展的な研究)</p> <p>第12回 油彩構想画⑦(本制作・総合的な要素の研究)</p> <p>第13回 油彩構想画⑧(本制作・総合的な要素の発展としての検討)</p> <p>第14回 油彩構想画⑨(本制作・総合的な要素の展開としての検討)</p> <p>第15回 油彩構想画⑩(講評会)</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>第2～15回 ささまざまな絵画作品の鑑賞によって、画面構成の方法やものの見方、材料の用い方の研究をする。</p> <p>日常から小さなスケッチブックと鉛筆等で風景等を描いたり、また、どのような材料でもよいから、らくがきのくでも描く習慣をもつこと。</p>	<input type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	受講姿勢(50%)および制作作品(50%)により評価する。	<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	再試験は行わない。	<input type="checkbox"/>
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学6名・徳島大学2名・鳴門教育大学4名</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	基本的な画材は各自で用意が必要。授業時間外でも時間を作って積極的に制作を行う。	<input checked="" type="checkbox"/>

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名	なし			<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	なし			<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名	なし			
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名	なし			
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	なし				<input type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要なし	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし		<input type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワー: 毎週火曜日12:00~13:30(2号館3階) または、電子メール(furukusa.atsushi@kagawa-u.ac.jp)で問い合わせること。			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	オフィスアワー: 特に設けない。電子メール(furukusa.atsushi@kagawa-u.ac.jp)で問い合わせること。			<input type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	furukusa.atsushi@kagawa-u.ac.jp			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	furukusa.atsushi@kagawa-u.ac.jp			<input type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験について	高等学校美術科、専門学校等に非常勤講師および特別講師として勤務。美術・芸術の授業を担当。高等学校等での実務経験をもとに絵画実技(油彩画制作)について指導を行う。				<input type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	非対応				<input type="checkbox"/>	
42. その他／備考	なし				<input type="checkbox"/>	

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェックを入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2025年度		2. 開講学期	前期集中	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	徳島大学総合科学部		4. 授業形態／授業種 別	対面	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名)映像メディア表現 (英文名) Media image expression				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)なし (英文名)なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語)佐原 理 (ローマ字)SAHARA Osamu				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2		13. 選必区分／単位区 分	必修	
14. 対象学生	学部2年次生		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部2年次生	
16. 曜日・時限	集中		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	映像、アニメーション、デザイン、地域、写真				
21. 授業概要	映像のデザインという視点からは主に原初の映像装置による体験等に依拠しながら諸処の映像表現やその方法論について学ぶ。また、映像によるデザインという視点から、主に個人が20世紀に撮影・記録した映像群を公共財と位置づけ、そこに映し出された大きな歴史に回収されない貴重な個々の物語に価値を見出しながら、それらが現代のコミュニティーの中で新しい物語を紡ぎ出すための手段とする方法論を学ぶことを通し、デザインすることの基礎的な知識を身につける。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	徳島大学開講連携教職科目: 本授業の目標は美術教育における映像メディア領域がどのような経緯で導入され、どのような能力形成が可能なのか、実践的な授業運営方法論やテクノロジーの活用方法を学ぶことを目標とする。特にデザインとは何かという基礎的な知識を得るとともに、映像によるデザインと映像のデザインの2つの視点から美術教育における映像の活用方法に焦点をおく。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	本授業の目標は美術教育における映像メディア領域がどのような経緯で導入され、どのような能力形成が可能なのか、実践的な授業運営方法論やテクノロジーの活用方法を学ぶことを目標とする。特にデ				<input checked="" type="checkbox"/>

	ザインとは何かという基礎的な知識を得るとともに、映像によるデザインと映像のデザインの2つの視点から美術教育における映像の活用方法を身につけることができる。	
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回: デザインとは何か? イタラティブなデザインプロセスとプロトタイピング</p> <p>第2回: 映像撮影とアニメーションデザインワークショップ1: コマドリでうごかす</p> <p>第3回: 映像撮影とアニメーションデザインワークショップ2: 体をつかう</p> <p>第4回: 映像撮影とアニメーションデザインワークショップ3: 描き出す</p> <p>第5回: 映像撮影とアニメーションデザインワークショップ4: 光をつかう</p> <p>第6回: 映像撮影とアニメーションデザインワークショップ5: 自作ブレイドーをつくる</p> <p>第7回: 映像のデザイン: 制作発表とディスカッション</p> <p>第8回: 映像撮影とアニメーションワークショップ6: クレイアニメーションで表現する</p> <p>第9回: 記録写真とフィールドワーク: 白黒写真をカラー化する1(写真画像技術の解説)</p> <p>第10回: 記録写真とフィールドワーク: 白黒写真をカラー化する2(写真画像技術の実践)</p> <p>第11回: 記録写真とフィールドワーク: プレゼンテーション 1(作品のプレゼンテーション)</p> <p>第12回: 記録写真とフィールドワーク: プレゼンテーション2(作品の講評と展示)</p> <p>第13回: マッピングしてストーリーを構成する。</p> <p>第14回: 映像によるデザインの振り返りとディスカッション</p> <p>第15回: 映像によってデザインするとは? まとめとレポート制作のためのテーマ</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>なし</p> <p>【自学自習のためのアドバイス】</p> <p>なし</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	作品のポートフォリオ評価60% 最終レポート40%	<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	なし	<input checked="" type="checkbox"/>
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限: なし	<input checked="" type="checkbox"/>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	本授業は徳島大学開講の連携教職課程科目です、美術の教職履修者のみが履修できる科目です。アニメーションの制作技法と映像を地域で活用する方法論を学びます。 隔年開講科目です(2025年度開講)。	<input checked="" type="checkbox"/>

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名			
		ISBN		著者名	
		出版社		出版年	
		金額		備考	
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	スペキュラティブ・デザイン 問題解決から、問題提起へ。-未来を思索するためにデザインができること		
		ISBN		著者名	アンソニー・ダン フィオーナ・レイビー
		出版社	ビー・エヌ・エヌ新社	出版年	
		金額		備考	
	参考書2	書名	図説 映像トリック—遊びの百科全書		
		ISBN		著者名	広瀬 秀雄, 矢牧 健太郎
		出版社	河出書房新社	出版年	
		金額		備考	
	参考書3	書名	映像体験ミュージアム—イメージネーションの未来へ		
		ISBN		著者名	東京都写真美術館, 森山 朋絵
		出版社	工作舎	出版年	
		金額		備考	
	参考書4	書名	美術教育ハンドブック		
		ISBN		著者名	神林 恒道 ふじえ みつる
		出版社	三元社	出版年	
		金額		備考	
	参考書5	書名	映像は未来とともに懐かしさは未来とともにやってくる:地域映像アーカイブの理論と実際		
		ISBN		著者名	原田 健一, 石井 仁志他
		出版社	学文社	出版年	
		金額		備考	
	参考書6	書名	岩井俊雄の仕事と周辺		
		ISBN		著者名	岩井俊雄
		出版社	六耀社	出版年	
		書名		備考	
	参考書7	書名	(Re)touching lives through photos		
		ISBN		著者名	Becci Manson



	出版社		Ted.com	出版年		
	書名			備考		
34. Webテキスト (URL・説明)	四国5国立大学による連携教職課程ホームページ https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html					<input checked="" type="checkbox"/>
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等 ／資格取得該当科目		教職		<input checked="" type="checkbox"/>
37. 教員相互参観授業公開日程						<input type="checkbox"/>
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オンラインオフィスアワーを受け付ける				<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ) オンラインオフィスアワーを受け付ける				<input type="checkbox"/>
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	sahara.osamu@tokushima-u.ac.jp				<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	sahara.osamu@tokushima-u.ac.jp				<input checked="" type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験について	なし					<input type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	なし					<input type="checkbox"/>
42. その他／備考						<input type="checkbox"/>

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の緑色部分をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. グレー部分は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. 白色部分はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2025年度2026年度(2025年度は開講 なし)		2. 開講学期	後期集中	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	徳島大学総合科学部		4. 授業形態／授業種 別	対面 ・ 遠隔	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名)先端芸術表現論				
	(英文名) Intermedia Art				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)なし				
	(英文名)なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語)佐原 理				
	(ローマ字)SAHARA Osamu				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2		13. 選必修区分／単位区 分	選択必修	
14. 対象学生	学部2年次生		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部2年次生	
16. 曜日・時限	集中 10月2日間での開催を予定		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	アニメーション, コンテンポラリーアート, アニメーション表現, 身体				
21. 授業概要	我が国の美術教育の中心的価値である創造性や感性に根ざした教育という枠組みから、ポストヒュー マニズム社会におけるAIなどのテクノロジーが社会の中でどのように位置付けられるのか、最先端芸術 の視点から我々の社会の持続可能性や諸侯の課題を探求する。最先端芸術表現がいかに教育的視 点からより批判的な知識や地域社会を豊かにする手段となり得るのか、美術・教育の観点から先端芸 術を掘り下げる。				☑
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	問い:「最先端芸術はいかにして教育的観点から豊かな社会を探求する手段となるのか？」 目標:履修者は上記のテーマに対して表現プロセスのデザインを通して自らの答えを導きだすことを目 標とする。				☑
23. 授業の到達目標 ／学修課題	履修者は上記のテーマに対して表現プロセスのデザインを通して自らの答えを導きだすことができる。				☑

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回: イントロダクション: GlobalMediaArts 21世紀のメディア表現と美術教育</p> <p>第2回: 現代美術: 先端芸術は何をみるのか? 未来と芸術</p> <p>第3回: 現代美術: 先端芸術と教育—多様性と持続可能性を模索する現場</p> <p>第4回: 先端芸術表現の通時的変遷</p> <p>第5回: 映像ってなんですか?: 映像の発見で社会はどうか変わった?</p> <p>第6回: 映像と認知の関係: 身体への眼差し: 生命をみつめる・生命を与える</p> <p>第7回: 映像教育の現場から: 映像メディアによる教育は何ができるのか?</p> <p>第8回: 映像メディア表現を实践する—映像: アニメーションと身体</p> <p>第9回: 映像メディア表現を实践する—映像とテクノロジー</p> <p>第10回: 映像メディア表現を实践する—映像表現と映像による表現</p> <p>第11回: 映像メディア表現を实践する—映像とメディアの先端</p> <p>第12回: 映像メディア表現を实践する—美術教育と先端表現</p> <p>第13回: 美的世界への眼差し: 美的表現としてのアニメーションデザイン</p> <p>第14回: 社会を捉える眼差し: ドキュメンタリーとしてのアニメーションデザイン</p> <p>第15回: 振り返り: 作品制作とレポート提出</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>なし</p> <p>【自学自習のためのアドバイス】</p> <p>なし</p>	<input type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	<p>学習成果物(40%), レポート(60%)</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	<p>なし</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限: なし</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>本科目は東京藝術大学よりゲスト講師を招聘し、アニメーション制作の技法やその背景にあるロジックを学びます。また、現代美術がどのように進展し我々は今アートを通して何を成し遂げようとしているのか、それを考える機会になればと思います。隔年開講科目です(2025年度は開講なし)。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	未来と芸術 Future and the Arts			<input checked="" type="checkbox"/>
		ISBN		著者名	森美術館	
		出版社	美術出版社	出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	四国5国立大学による連携教職課程ホームページ https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html				<input checked="" type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目		教職	<input checked="" type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オンラインオフィスアワーを受け付ける			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ) オンラインオフィスアワーを受け付ける			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	sahara.osamu@tokushima-u.ac.jp			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	sahara.osamu@tokushima-u.ac.jp			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験について	なし				<input type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	なし				<input type="checkbox"/>	
42. その他／備考	なし				<input type="checkbox"/>	

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェックを入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2025年度		2. 開講学期	後期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	教育学部		4. 授業形態／授業種 別	オンデマンド遠隔、 双方向型遠隔	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 20世紀の美術理論と現在 (英文名) 20th Century Art Theory and the Present				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)なし (英文名)なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語)吉川暢子 (ローマ字) YOSHIKAWA Nobuko				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	選択	
14. 対象学生	学部2年次生		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部2年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンド遠隔は曜日・時限関係なし 双方向型遠隔は金曜5限(16:30～ 18:00)又は10月～2月の土日等を利用		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	美術教育の未来を考 える 先端芸術表現論	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	Cbf
	連携大学 学生向け	美術教育の未来を考 える 先端芸術表現論		連携大学 学生向け	
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	(1)美術教育(2)基盤的理論(3)学説 (1) Art Education(2) Fundamental Theory of Art(3) Theory of Art				
21. 授業概要	我が国の美術教育の中心的価値である創造性や感性に根ざした教育を中心的価値に据え置き、本授業ではまず、チゼック、ローウェンフェルド、リードといった美術教育の基盤となる理論発展の歴史を知る。また、20世紀初頭から現代までの主たる教育原理がどのように美術教育に生かされるのかその基盤を美術教育の観点から理解する。その上で21世紀の最新の美術教育理論研究や最新の学術成果の調査方法に触れ、継続的に美術教育実践者として教育理論を学びつづける姿勢や方法論を身につける。				<input type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	美術教育における基盤的理論の理解を本授業の礎とした上で、最先端の美術教育研究を学ぶ手続きや研究の現場に学び、将来にわたって持続的に調査研究し教育現場においても最新の学説を学び続ける姿勢を獲得する。				<input type="checkbox"/>

23. 授業の到達目標 ／学修課題	1、美術教育のさまざまな学説から今日的な課題設定をすることができる 2、美術教育の基礎的な理論や教育原理から設定した内容に関連した先行研究を参照することができる 3、美術教育の課題に対して自学自習をすることができる	□
24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	第1回:イントロダクション 第2回:美術教育ってなぜ必要なのですか? 第3回:第二次世界大戦の前後の美術教育・子どもの発見と発達段階そして芸術による人間形成へ 第4回:経験と教育 1:デューイなど経験に関わる理論 第5回:経験と教育 2:美術教育から鑑みるデューイなどの経験論 第6回:モンティソーリとエリクソン メルロー=ポンティ 第7回:認知の発達と他者/社会との関わり:メルロー=ポンティやピアジェ:ヴァイゴツキー 第8回:他者/社会との関わりー抑圧から対話と民主主義的教育を考える: フレイレ 第9回:映像表現と美術教育:ドゥルーズ 第10回:社会との接点:歴史・分析・批評、美学、制作-アイズナー 第11回:多重知性から考える子どもの多様性:ガードナー 第12回:美術教育研究の最前線1-Arts Based Research などー 第13回:美術教育研究の最前線2 認知科学から考える美術教育 第14回:最新の美術教育は何をあたえる教育なのか?ディスカッション 第15回:振り返りとまとめレポート作成 【自学自習のためのアドバイス】 ・動画を視聴するだけでなく、各授業で取り扱う教育論や人名などについて調べる。 ・動画で紹介された文献などを読み、理解を深める。 ・自分なりの意見が述べられるように準備する。 ・課題について小レポートを作成する。	□
27. 授業時間外学習 にかかわる情報	講義・90分 × 15回 + 自学自習(準備学習 30時間 + 事後学習 30時間) 【自学自習のためのアドバイス】 ・動画を視聴するだけでなく、各授業で取り扱う教育論や人名などについて調べる。 ・動画で紹介された文献などを読み、理解を深める。 ・自分なりの意見が述べられるように準備する。 ・課題について小レポートを作成する。	□
28. 成績評価の方法 と基準	授業時の小レポート80% 最終レポート20%	□

29. 再試験の有無	なし			<input type="checkbox"/>		
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし ※制限ありの場合、10名以上で設定			<input type="checkbox"/>		
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	第1回目、第14回目、第15回目はZoomなどを使い、オンラインで行います。オンラインは金曜日5限で行います。日程についてはメール等でお知らせします。			<input type="checkbox"/>		
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名	美術科教育の基礎		<input type="checkbox"/>	
		ISBN	978-4767921358	著者名		福田隆真 福本謹一
		出版社	建帛社	出版年		2024
		金額	2860	備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	必要な資料等は授業時に配布する		<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	なし			<input type="checkbox"/>		
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	教職	<input type="checkbox"/>		
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>		
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワー:毎週木曜昼休み。または、電子メール(yoshikawa.nobuko@kagawa-u.ac.jp)で問い合わせること。		<input type="checkbox"/>		
	連携大学 学生向け	オフィスアワー:特に設けない。電子メール(yoshikawa.nobuko@kagawa-u.ac.jp)で問い合わせること。		<input type="checkbox"/>		
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	yoshikawa.nobuko@kagawa-u.ac.jp		<input type="checkbox"/>		

	連携大学 学生向け	yoshikawa.nobuko@kagawa-u.ac.jp	<input type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験 について	芸術士や高等学校等での実務経験をもとに、美術教育を実施する基本的専門能力について多様な分野から講義を行う。		<input type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	なし		<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	連携教職課程－美術のHP (https://www.renkeikyoshoku-art.com)には授業の情報等が記載されています。		<input type="checkbox"/>

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2025年度		2. 開講学期	後期前期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	徳島大学総合科学部		4. 授業形態／授業種 別	対面講義	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 美術科教育法 I (英文名) Methodology of Teaching Fine Arts I				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)なし (英文名)なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語)佐原 理・石原 由貴 (ローマ字)SAHARA Osamu・ISHIHARA Yuki				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部2年次生		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部2年次生	
16. 曜日・時限	水曜3限		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	教職、美術				
21. 授業概要	この授業は美術教員の免許取得のための科目である。学習指導要領を中心に中学校美術科教育につ いての知識を深め、中学校美術科の役割を理解し授業を組み立てる事が出来るようになるように講義 を進める。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	中学校の学習指導要領美術を中心に美術教育の役割について理解し授業担当が可能な知識を獲得 する。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	中学校の学習指導要領美術を中心に美術教育の役割について理解し授業担当が可能な知識を獲得 する。				<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)																											
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	1、美術教育はなぜ必要か？美術教員の役割と進路 2、学習指導要領が出来るまで—DeSeCoのキーコンピテンシーと生きる力 3、学習指導要領総則編と美術教育のつながり 4、学習指導要領美術編と解説を理解しよう 5、美術教育の目標と表現・鑑賞 6、感性と情操について 7、教科内容学領域の取り扱い—美術の教育と美術による教育 8、獲得すべき能力と学習モデル 9、発達段階、指導方法、ICTの活用について 10、クラスルームマネジメントの方法 11、美術教育と言語活動 12、美術教育と身体 13、各社の教科書を参考に指導案を作成しよう 14、指導案の作成と発表 15、指導案の作成と発表 16、まとめ				<input checked="" type="checkbox"/>																						
27. 授業時間外学習にかかわる情報	大学の講義は、1単位を修得するにあたり、教員が行う授業時間に加え、学生が予習や復習などの授業時間外に学修する時間と合わせて、45時間の学修を必要とします。 【自学自習のためのアドバイス】 なし				<input checked="" type="checkbox"/>																						
28. 成績評価の方法と基準	授業課題及びレポート(ポートフォリオ)による評価				<input checked="" type="checkbox"/>																						
29. 再試験の有無	なし				<input checked="" type="checkbox"/>																						
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし 香川大学_名・徳島大学_名・鳴門教育大学_名・高知大学_名・愛媛大学_名 ※制限ありの場合、10名以上で設定				<input checked="" type="checkbox"/>																						
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	隔年開講科目です(2025年度開講)。				<input checked="" type="checkbox"/>																						
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">教科書1</td> <td style="width: 15%;">書名</td> <td colspan="3">中学校学習指導要領解説美術編</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td>9784536590037</td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教科書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3">高等学校学習指導要領解説美術編</td> </tr> </table>				教科書1	書名	中学校学習指導要領解説美術編			ISBN	9784536590037	著者名		出版社		出版年		金額		備考		教科書2	書名	高等学校学習指導要領解説美術編			<input checked="" type="checkbox"/>
教科書1	書名	中学校学習指導要領解説美術編																									
	ISBN	9784536590037	著者名																								
	出版社		出版年																								
	金額		備考																								
教科書2	書名	高等学校学習指導要領解説美術編																									

		ISBN	9784316300191	著者名			
		出版社		出版年			
		金額		備考			
	教科書3	書名	美術科教育の基礎知識				
		ISBN	9784767921013	著者名	福田隆眞, 福本謹一, 茂木一司		
		出版社	建帛社	出版年	2010		
		金額		備考			
	教科書4	書名	よくわかる中高美術				
		ISBN	9784788714731	著者名	時事通信出版局編		
		出版社	時事通信出版局	出版年	2016		
		金額		備考			
	33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	美術1			
ISBN				著者名			
出版社			開隆堂出版株式会社	出版年	2015		
金額				備考			
参考書2		書名	美術2・3上 下				
		ISBN		著者名			
		出版社	開隆堂出版株式会社	出版年	2015		
		金額		備考			
参考書3		書名	美術1				
		ISBN		著者名			
		出版社	光村図書出版株式会社	出版年	2015		
		金額		備考			
参考書4		書名	美術2・3上 絵・彫刻編, 美術2・3下 デザイン・工芸編				
		ISBN		著者名			
		出版社	光村図書出版株式会社	出版年	2015		
		金額		備考			
参考書5		書名	美術1 美術2・3上 下				
		ISBN		著者名			
		出版社	日本文教出版株式会社	出版年	2015		
		金額		備考			
34. Webテキスト (URL・説明)	四国5国立大学による連携教職課程ホームページ https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html					<input checked="" type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目		教職	<input checked="" type="checkbox"/>		

37. 教員相互参観授業公開日程			<input type="checkbox"/>
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	なし	<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ) なし	<input type="checkbox"/>
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	なし	<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	なし	<input type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験について	なし		<input type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	なし		<input type="checkbox"/>
42. その他／備考			<input type="checkbox"/>

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2025年度2026年度(2025年度は開講なし)		2. 開講学期	後期集中	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	徳島大学総合科学部		4. 授業形態／授業種別	対面・遠隔・オンデマンド	
5. 授業科目区分／科目 分野／科目区分／区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コード ／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英 文名／英文併記	(日本語名)美術科教材開発実践研究				
	(英文名) Material Development Practical Studies in Art Education				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)なし				
	(英文名)なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語)佐原理、山田芳明、吉川暢子				
	(ローマ字) SAHARA Osamu・YAMADA Yoshiaki・YOSHIKAWA Nobuko				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2		13. 選必修区分／単位区 分	必修	
14. 対象学生	学部3年次生		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部3年次生	
16. 曜日・時限	集中 11.12月の休日の2日間		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け		19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	
	連携大学 学生向け			連携大学 学生向け	
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	美術教育、教材開発、実践指導、指導案組み立て				
21. 授業概要	我が国の美術教育の中心的価値である創造性や感性に根ざした教育をどのような観点から構築可能な のか、美術科における教材開発実践の視点から経験的知識を体得したい。そこで、実際の教育現場 ですぐに授業設計が可能となるための教材開発の知識を深め、教育現場を模して指導案を組み立て、 模擬授業ができるように以下の事業計画に沿って美術教育の実践研究を行う。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	中学校および高等学校学習指導要領美術を中心に美術教育の役割について理解し教材開発が可能な 知識および技術を獲得する。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	中学校および高等学校学習指導要領美術を中心に美術教育の役割について理解し教材開発が可能な 知識および技術を獲得できる。				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回 美術教育はなぜ必要か？美術教育の現場から</p> <p>第2回 教材開発の専門性と実際—実際の教育現場で求められる教材開発</p> <p>第3回 教材開発の専門性と実際—学習指導要領から見る教材開発</p> <p>第4回 教材開発の専門性と実際—事例にふれる教材開発アートの現場から1事例紹介</p> <p>第5回 教材開発の専門性と実際—事例にふれる教材開発アートの現場から2ワークショップ</p> <p>第6回 教材開発をしてみよう1(ICTサポート:遠隔でアイデアをまとめる方法論)</p> <p>第7回 教材開発をしてみよう 2(教育効果に合わせた教材開発)</p> <p>第8回 教材開発内容の発表とフィードバック—まとめ</p> <p>第9回 開発教材による授業設計をする1(具体的な授業運営を考える)</p> <p>第10回 開発教材による授業設計をする2(必要な素材や教室づくり)</p> <p>第11回 開発教材による模擬授業準備(授業運用をサポートするICTの活用)</p> <p>第12回 模擬授業発表1(香川大学学生発表)</p> <p>第13回 模擬授業発表2(鳴門教育大学発表)</p> <p>第14回 模擬授業発表3(徳島大学発表)</p> <p>第15回 模擬授業発表と振り返り</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	【自学自習のためのアドバイス】	<input type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	授業毎小レポート(20%)、指導案作成課題(40%)、最終レポート(40%)	<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	なし	<input checked="" type="checkbox"/>
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし	<input checked="" type="checkbox"/>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	徳島大学開講連携教職課程の科目です。美術教育の教職課程を履修する方が履修できる科目として位置付けられています。隔年開講科目です(2025年度は開講なし)。	<input checked="" type="checkbox"/>

32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☑																																																																																					
教科書1	書名																																																																																																										
	ISBN		著者名																																																																																																								
	出版社		出版年																																																																																																								
	金額		備考																																																																																																								
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3">文部科学省中学校学習指導要領(平成29年告示)解説美術編</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3">文部科学省高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説美術編</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3">美術科教育の基礎知識</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td>福田隆眞, 茂木一司, 福本 謹一</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>建帛社</td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書4</td> <td>書名</td> <td colspan="3">中学校美術の授業がもっとうまくなる50の技</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td>山崎正明</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>明治図書出版</td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書5</td> <td>書名</td> <td colspan="3">ルーブリックで変わる美術鑑賞</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td>新関伸也 他</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>三元社</td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書6</td> <td>書名</td> <td colspan="3">美術教育ハンドブック</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td>神林恒道, ふじえみつる</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>三元社</td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				参考書1	書名	文部科学省中学校学習指導要領(平成29年告示)解説美術編			ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名	文部科学省高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説美術編			ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名	美術科教育の基礎知識			ISBN		著者名	福田隆眞, 茂木一司, 福本 謹一	出版社	建帛社	出版年		金額		備考		参考書4	書名	中学校美術の授業がもっとうまくなる50の技			ISBN		著者名	山崎正明	出版社	明治図書出版	出版年		金額		備考		参考書5	書名	ルーブリックで変わる美術鑑賞			ISBN		著者名	新関伸也 他	出版社	三元社	出版年		金額		備考		参考書6	書名	美術教育ハンドブック			ISBN		著者名	神林恒道, ふじえみつる	出版社	三元社	出版年		金額		備考		☑
参考書1	書名	文部科学省中学校学習指導要領(平成29年告示)解説美術編																																																																																																									
	ISBN		著者名																																																																																																								
	出版社		出版年																																																																																																								
	金額		備考																																																																																																								
参考書2	書名	文部科学省高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説美術編																																																																																																									
	ISBN		著者名																																																																																																								
	出版社		出版年																																																																																																								
	金額		備考																																																																																																								
参考書3	書名	美術科教育の基礎知識																																																																																																									
	ISBN		著者名	福田隆眞, 茂木一司, 福本 謹一																																																																																																							
	出版社	建帛社	出版年																																																																																																								
	金額		備考																																																																																																								
参考書4	書名	中学校美術の授業がもっとうまくなる50の技																																																																																																									
	ISBN		著者名	山崎正明																																																																																																							
	出版社	明治図書出版	出版年																																																																																																								
	金額		備考																																																																																																								
参考書5	書名	ルーブリックで変わる美術鑑賞																																																																																																									
	ISBN		著者名	新関伸也 他																																																																																																							
	出版社	三元社	出版年																																																																																																								
	金額		備考																																																																																																								
参考書6	書名	美術教育ハンドブック																																																																																																									
	ISBN		著者名	神林恒道, ふじえみつる																																																																																																							
	出版社	三元社	出版年																																																																																																								
	金額		備考																																																																																																								
34. Webテキスト(URL・説明)	<p>四国5国立大学による連携教職課程ホームページ https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html</p>				☑																																																																																																						
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等/本科目受講が必要となる資格等/資格取得該当科目	教職	☑																																																																																																							
37. 教員相互参観授業公開日程					☐																																																																																																						

38. オフィスアワー	自大学 学生向け		<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ)	<input type="checkbox"/>
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	sahara.osamu@tokushima-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	sahara.osamu@tokushima-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験について	なし		<input type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	なし		<input type="checkbox"/>
42. その他／備考			<input type="checkbox"/>